

岩手県アルコール健康障害・ギャンブル等依存症対策推進計画の最終案について

岩手県保健福祉部障がい保健福祉課

1 「岩手県アルコール健康障害対策推進計画」及び「岩手県ギャンブル等依存症対策推進計画」の統合

アルコール健康障害対策及びギャンブル等依存症対策は、共通する課題や取組が多く、区分にとらわれず、相互に連携を図りながら、総合的に取組を行うことにより、対策や支援の充実等が期待できることから、現行計画を統合し策定

2 計画の根拠

アルコール健康障害対策基本法第 14 条第 1 項及びギャンブル等依存症対策基本法第 13 条第 1 項 に基づく県の推進計画

3 計画期間

令和 6 年度から令和 11 年度までの 6 か年（策定から 3 年後（令和 8 年度）に見直し）

4 基本理念

- (1) アルコール健康障害及びギャンブル等依存症の発生、進行及び再発の各段階に応じた防止対策を適切に実施
- (2) アルコール健康障害を有する者やギャンブル等依存症である者等及びその家族が日常生活及び社会生活を円滑に営むことができるよう支援
- (3) アルコール健康障害やギャンブル等依存症は、暴力、虐待、自殺、飲酒運転、多重債務等の問題に密接に関連することに鑑み、アルコール健康障害やギャンブル等依存症に関連して生ずるこれらの問題の根本的な解決に資するため、これらの問題に関する施策の有機的な連携が図られるよう配慮

5 これまでの検討経過

- (1) 令和 5 年 11 月 24 日 令和 5 年度第 1 回岩手県アルコール健康障害・ギャンブル等依存症対策推進協議会で素案を協議
- (2) 令和 5 年 12 月 7 日 12 月議会（常任委員会）で素案を説明
- (3) 令和 5 年 12 月 14 日 令和 5 年度第 1 回岩手県精神保健福祉審議会で素案を説明
- (4) 令和 5 年 12 月 18 日から令和 6 年 1 月 17 日（水）パブリック・コメントを実施
ア 意見総数：37 件（11 人）
イ 対応内訳：全部反映 5、一部反映 5、趣旨同一 18、参考 9、対応困難 0、その他 0

6 主な意見の反映状況等

発言	意見	検討結果	反映状況
協議会	次期計画では普及啓発イベントの参加者数の増加を目標としているが、県主催のイベントだけでなく、断酒会や各民間団体が行っているイベントも含めた方が良いのではないか。	御指摘のとおり、県主催イベント以外にも、多くの団体が普及啓発イベントを開催しているが、線引きやすべてを把握することは難しいため、今回は県主催イベントのみを目標値としますが、御意見は、今後の参考とさせていただきます。	D（参考）
協議会	不適切なギャンブル等を防止するための取組として、①18 歳未満のギャンブル等の防止に係る取組、②ATM 及びデビットカードシステムの撤去、③子どもの車内放置の防止に係る取組の3つが新規取組として記載されているが、新しい取り組みではなく、業界では、これらの取組よりも、自己申告プログラムの導入やアドバイザーの養成等に力を入れている。記載する取組を変更できないか。	3つの新規取組と記載していた内容のうち、ATM・デビットカードシステムの撤去に関しては、現時点で既に撤去されているとの御意見もいただいたことから削除することとし、他2つの取組は「新規記載」と変更します。 ・自己申告プログラムの導入及びアドバイザーの養成について、概要に追加しました。	B (一部反映)
協議会	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合について、岩手県の男性は前回調査よりも3.5%減少しているが、反対に女性は0.3%上がっている。新たに女性に対する取組等を検討する必要があるのではないか。	普及啓発イベントで女性向けの内容を含める等、実際の取組を進めていく中で、関係機関と御相談しながら取組を検討したいと考えます。 いわて健康21プランに合わせて、女性に向けた目標として「妊婦の飲酒をなくすこと」を追加します。	B (一部反映)
協議会	依存症対策は、関係機関との連携が重要と考える。計画の中に連携体制について、イメージできる図等があると分かりやすいと思う。	P50「Ⅲ 基本的施策」の「1 共通事項」の「ウ 関係機関との連携の促進」で、関係機関の連携についての記載を追加しました。 Ⅳ 連携体制等 の章で連携図を記載しました。	A (全部反映)

発言	意見	検討結果	反映状況
パブリックコメント	「ギャンブル等依存症の自助グループ等」に、「ギャンブル依存症家族の会岩手」を追加してほしい。「ギャンマン」は自分を内省し、悩みや苦しみを分かち合うための会、「家族の会」は問題を解決するために具体的に行動する組織であり、ギャンブル依存症の問題で悩む家族はどちらにも参加することが大切と。(類似意見2名)	御指摘のとおり、「ギャンブル依存症家族の会 岩手」を追加しました。 また、『「VI 参考資料」⇒「9 自助グループ等一覧」』にも追加しました。	A (全部反映)
パブリックコメント	発達障がいと依存症の重複障害は非常に多い。発達障がいと依存症の関係団体の連携強化を盛り込んでほしい。	「発達障がいに係る団体」との明記はしませんが、支援機関との連携強化に努める旨記載しており、関係機関との連携強化に取り組みます。	C (趣旨同一)
パブリックコメント	近年は、オンラインカジノやインターネットを使用したギャンブル等が問題となっていて、当事者本人はお金を使っている感覚を持ちにくく、家族も気づきにくいいため、ギャンブル等依存が進行しやすい状況にあると考える。これらに関する取組を考えてほしい。	競馬等のインターネット投票については、本県主体ではないものの、アクセス制限やサイト上に注意喚起の表示等の対策が行われているところです。普及啓発や研修会の開催等は、オンラインカジノやインターネットを通じたギャンブル等についても共通しており、一体的に取り組を進めます。	D (参考)
パブリックコメント	当事者やその家族がつながる資源が少なすぎるため、オンラインでの参加も広く紹介してほしい。	計画では、具体的取組において、自助グループ等に係る積極的な情報提供に取り組む旨記載しており、V 参考資料においても、オンライン上の自助グループについて記載しています。今後も、オンライン形式を含めた自助グループ等について、より積極的な情報提供に努めます。	C (趣旨同一)

7 今後の予定

- | | |
|---------------|--|
| (1) 令和6年2月9日 | 令和5年度第2回岩手県アルコール健康障害・ギャンブル等依存症対策推進協議会で最終案を協議 |
| (2) 令和6年3月中旬 | 2月議会（常任委員会）で最終案を報告 |
| (3) 令和6年3月28日 | 令和5年度第2回岩手県精神保健福祉協議会で最終案を報告 |
| (4) 令和6年3月末 | 策定 |